

学年・部 ・委員会	評価項目・具体的取り組み	NO	評価基準				評価	取り組みの状況と改善の方策	学校関係者評価
			4	3	2	1			自己評価の適切さ
1学年	基礎基本的事項の習得を図り、個々の進路希望に対応できる学力の養成に努める。	1	個々の学力・適性を把握をした上で十分な学習指導ができ満足な効果があった。	個々の学力・適性を把握をし十分な学習指導ができたが、効果については更に工夫を要する余地がある。	個々の学力・適性の把握はできたが学習指導を更にする必要があった。	個々の学力・適性の把握が不十分で学習指導も更にする必要があった。	3.2 B	生徒に自主的、活動的に主体性をもっとりくませるための授業の目標及び内容を設定し、課題学習型や、発表や話し合いを奨励する授業をすすめていく工夫に努めた。生徒個々の状況に応じ、積極的に考えさせるためのアプローチや授業設計に改善の工夫がさらに求められる。	・きめこまやかに取り組みを進めておられると思います。このことが、大学合格数につながって欲しいと期待します。
	教科学習・進路学習やLHRにおける指導により進路を思考する態度の育成を図る。	2	個々の生徒に応じた的確な進路情報を提供でき、自らの進路を常に意識させることができた。	個々の生徒に応じた進路情報を提供でき、自己の進路を自主的に考えさせることができた。	一般的な進路情報を提供し、自己の進路を考える機会を与えることができた。	個々の生徒に応じた進路情報を提供できず、また生徒も進路意識をまったく持っていない。	3.3 A	将来を見据えた自己実現の育成を推し進めるべく、必要な情報を適時提供し、自主的に考えさせながら必要な助言につとめた。	・進路への意識付けや進路実現という取り組みには先生方の並々ならぬ気遣いというのを感じ取ることが出来ます。No5、No11の先生方に関わる部分が昨年に比べても少し評価が落ちているのが気にかかります。忙しい中、調節をして自己研鑽の時間が取れるといいですな。先生方の上昇志向の思いは十分感じられます。
2学年	進路実現に向けて、生活と学習の両面の基本習慣となる力を身につけさせる。そのために自ら学び考え判断する力を育む。	3	個々の学力・適性を十分把握をした上で綿密な学習指導・進路指導ができ満足な効果があった。	個々の学力・適性を把握した上で、十分な学習指導・進路指導ができ、おおむね効果があった。	個々の学力・適性の把握はできたが、学習指導・進路指導においては、あまり効果がなかった。	個々の学力・適性の把握が不十分で、しかも学習指導・進路指導にもあまり効果はなかった。	3.1 B	進路目標が明確になるにつれ、目標達成のために努力する生徒が増えてはきた。しかし自己把握ができず目標の明確化ができていない生徒も未だ多い。自らに目標を課し、高きを目指させる指導を重ねて行きたい。	
3学年	個々の生徒の学力と進路希望の把握に努め、進路実現に相応しい学習計画の指導と受験指導を行う。教科担当と担任・学年団のコミュニケーションを密にし、情報を共有しながら集団で進路指導を行う。	4	個々の学力・適性を把握した上で、十分な学習指導・受験指導ができ、満足な効果があった。	個々の学力・適性を把握した上で、十分な学習指導・受験指導ができ、おおむね効果があった。	個々の学力・適性の把握はできたが、学習指導・受験指導においては、あまり効果がなかった。	個々の学力・適性の把握が不十分で、しかも学習指導・受験指導にもあまり効果はなかった。	3.1 B	学力・適性を把握した上で、個々に応じた十分な学習指導・受験指導を実施し満足な効果があった。生徒も各自の進路目標を明確にし計画的な学習状況が一年間見られた。教科間等の連携をさらに密にすることでよりきめ細やかな指導につながると考えられる。	
教務	研究授業を行い、批評しあうことで、教科指導力の向上を図る。	5	各教科で学期に1回研究授業が行えた。	各教科で年間に1回研究授業が行えた。	一部の教科で研究授業を実施できなかった。	研究授業を実施することができなかった。	2.2 C	一部の教科でしか研究授業は実施できなかった。公開授業と研究授業の実施方法や実施時期、回数等を再検討する。	・取り組みの状況と改善の方策から評価の確からしさが伺えます。全体の取り組みの総量の多さに年間計画での実施に時間的な余裕はなく、改善の必要があると感じていることについて実行が難しくなっている様に思います。PDCAサイクルについて、各授業の一部にアンケート的な要素を取り入れることは出来ないでしょうか。実施のサイクルを年→週→日にするには、どの様な方法が可能かを考えてみるのはいかがでしょうか。
	生徒の学力を向上させるために、常に教材研究や研修に努め、授業改善を試みる。	6	教材研究の為の研修会などに積極的に参加し授業改善ができて、生徒の学力向上につながった。	教材研究の為の研修会などに参加し授業改善がほぼでき、生徒の学力向上が期待できる。	教材研究に努め、授業改善の見通しがついた。	新しい教材開発もせず、旧態依然とした授業であった。	2.6 B	「生徒の実態」に即した目標を設定し、自己評価、生徒によるアンケート等を実施し、指導改善を行う。PDCAサイクルの確立を目指す。	
進路指導	個々の生徒の進路実現に向け、低学年からの系統的・持続的な進路指導計画とその実行を目指す。 1)各学年との連携を強化し、進路HRや各進路行事(進路講演会、外部講師による模擬授業など)の計画的実施を推進する。 2)生徒の実態や進路希望に合わせた補習を計画し、学年進行に伴って発展的に実施できるように工夫する。 3)インターンシップの推進として、就職希望者および、保育系・看護医療系進学希望者への「一日体験」を確実に実施していく。	7	各学年との密接な連携の中で、進路HR、各進路行事を系統的に継続実施し、個々の生徒の進路意識向上に大きく効果を上げた。	進路HR各進路行事を系統的に継続実施し、各学年での個々の生徒の進路意識向上に、おおむね効果を上げた。	進路HR各進路行事を実施はしたが、時に場当たりのものになり、生徒の進路意識向上にはあまり効果も上げなかった。	進路HR各進路行事に計画性がなく、その実施も不安定なものであった。生徒の進路意識向上への機会も十分与えられなかった。	3.1 B	個々の生徒の自己実現のための進路HR・進路行事の計画・実施の充実に努めたが、3年間を見通した継続性やその効果について更なる検証が必要である。	
		8	全学年、年間を通して各学年に必要な内容の補習がしっかり立案・実施され、生徒の進路実現に大いに役立った。	学年や時期にはややムラがあるものの、年間の中で必要な内容の補習が立案・実施され、効果も上がった。	生徒の実態に合わせた補習計画は立てられたが、内容や実施期間に不十分な点が多かった。	内容についてはあまり検討されず、例年通りの補習で終わった。	3.1 B	様々な学力の生徒に応じた講座を開き、できるだけ多くの生徒が参加できるように、各学年・教科で活発に実施されたが、更に、生徒の実態や要望を考慮しながら、生徒の進路実現のために効果的に実施したい。	
		9	就職希望者、保育・看護医療系進学希望者へのインターンシップが全て計画的に実施され、生徒も意欲的に参加し、進路意識向上に大いに役立った。	就職希望者、保育・看護医療系進学希望者へのインターンシップが計画的に実施され、生徒の進路意識向上の1つの機会となった。	就職者希望者へのインターンシップ実施が不十分で、その他のものについても生徒への啓発が不十分で、効果的に実施されなかった。	インターンシップの計画はなされたが、実施に至らなかった。	3.1 B	保育所や看護医療系進学希望者の病院でのインターンシップは前向きな生徒の取り組みにより非常に有意義なものとなった。今後も各生徒の進路実現につながるものとなるように、積極的な参加を促したい。	
図書	生徒の興味・関心・研究意識を高める蔵書を整え、読書意欲を高め、読書機会を増やす。	10	図書館利用者数、貸し出し冊数が大幅に増加した。	図書館利用者数、貸し出し冊数が増加した。	図書館利用者数、貸し出し冊数に変化がなかった。	図書館利用者数、貸し出し冊数が減少した。	2.9 B	本年度は長期休業中の開館日を増やした。来年度も出来るだけ維持したい。	
情報	コンピュータを活用した教材研究により授業効果を高め、生徒の学力向上及び進路実現を図る。	11	インターネット又はワープロソフト等を活用した教材の作成により、かなり効果的な授業を行うことができた。	インターネット又はワープロソフト等を活用した教材の作成はできたが、授業効果としてはまだ改善の余地がある。	インターネット又はワープロソフト等を活用した教材の作成はたまに行う程度であった。	インターネット又はワープロソフト等を活用した教材の作成はほとんどしなかった。	2.4 C	各自、それなりに教材作成にワープロ等を活用していると思われるが、いっそうの活用を促すためには、インターネット又はワープロ等を活用した教材作成や授業実践の事例を紹介する必要があると思われる。	
研究推進	学校設定科目「科学・技術・社会」「科学英語」「科学英語情報」や理数科目の授業内容の充実を図る。	12	充実した内容で実施でき、新たな教材開発ができた。	実施により、一部で新たな教材開発ができた。	実施により、新たな教材開発がほとんどできなかった。	実施により、新たな教材開発が全くできなかった。	2.7 B	関係教科の先生方に取り組みを促す。	
	「自然科学探究」における課題研究の充実と発表会の実施を行う。	13	2年生の全ての班で課題研究発表ができ、内容が充実していた。	2年生の全ての班で課題研究発表ができた。	2年生の一部の班で課題研究発表ができた。	ほとんど研究発表ができなかった。	3.2 B	全ての班が発表を行ったが、より一層充実させる必要がある	
	評価アンケート集計による理数科目に対する興味・意欲の分析とアンケート結果のフィードバックを実施する。	14	評価集計により、SSH事業実施による効果が十分に認められた。	SSH事業実施による効果がやや認められた。	SSH事業実施による効果はあまり認められなかった。	SSH事業実施による効果がほとんど認められなかった。	2.8 B	アンケート結果によるフィードバック自体、ほとんど行われていない。	

学年・部・委員会	評価項目・具体的取り組み	NO	評価基準				評価	取り組みの状況と改善の方策	学校関係者評価
			4	3	2	1			自己評価の適切さ
1学年	1) 日常の学校生活を通じて、基本的な生活習慣の確立や公共心の育成に努める。 2) 掃除 1) 基本的な生活習慣 2) 掃除	15	1) 基本的な生活習慣が確立し、遅刻もなく、挨拶も非常に気持ち良くできています。	1) 基本的な生活習慣がほぼ確立し、遅刻もほとんどなく、挨拶もよくできる。	1) 基本的な生活習慣が十分には確立しておらず、遅刻も目立ち、挨拶もあまりできない。	1) 基本的な生活習慣が乱れており、遅刻も大変多く、挨拶もできない。	3.1 B	自律的に生活できる生徒を増やすことにつとめている。時代の変化や生徒の多様性に柔軟に対応することが課題となっている。生活習慣の乱れから遅刻を繰り返す生徒もあり、きめ細かい指導を要する。	・具体的な取り組みが適確に掲げられています。生徒の皆さんの雰囲気がいままで爽やかで気持ちが良いです。 ・この項目のほとんどは家庭の問題になるかと思うので、それを思うと先生方のご苦労に感謝します。地域貢献については、ボランティア部や生徒会、音楽部が中心になってしまい、一般生徒まで広がりにくいのが残念です。昨年より評価が厳しくなった項目は、先生方の思いが子ども達の思いより先に行ってしまう、ちょっと寄り添えなかったところがあったのではないですか。
		16	2) 公共心・美化意識が強く、指導なしでも意欲的に隅々まで掃除ができています。	2) 公共心もあり、割り当てられた分担区域等は責任を持って掃除ができています。	2) 公共心や清掃について指導を要するときにときどきある。	2) 公共心や清掃方法について常に指導が必要である。	3.2 B	地域清掃などに積極的に参加する生徒が増えている一方で、登下校のマナーに苦言を頂くことがあり、公共心の育成につとめたい。	
2学年	1) 日常の学校生活を通じて、基本的な生活習慣の確立や公共心の育成に努める。 2) 中堅学年としての自覚を持たせ、様々な学校行事に積極的に主体的に取り組み、集団の中で自己の役割を果たすことの出来る生徒の育成を図る。	17	基本的な生活習慣が確立し、遅刻もなく、挨拶も非常に気持ち良くできています。	基本的な生活習慣がほぼ確立し、遅刻もほとんどなく、挨拶もよくできる。	基本的な生活習慣が十分には確立しておらず、遅刻も目立ち、挨拶もあまりできない。	基本的な生活習慣が乱れており、遅刻も大変多く、挨拶もできない。	3.0 B	学校生活に前向きで規律ある言動を身に付けた生徒が増えてはきた。しかし集団生活のルールに対する意識の低いままの生徒も未だ多い。適確な判断力と揺るぎない自制心育成のための生活指導を重ねて行きたい。	・心構えと生活態度のギャップから周囲からは苦言となる事があると考えます。学生は行動から判断するよりもずっと素直であると感じています。先生方もそう感じているのではないのでしょうか。自分たちと年代の者の行動に誤解は生じ難いですが、色々な年代の方にとっては必ずしも理解されれるとは限らない事を知ってもらい、彼らの行動の周囲に対する影響の認識不足を改善してもらう必要があると思います。
		18	すべての行事において、生徒が主体的に活動し、自己の役割を責任をもって果たした。	殆どの行事で、生徒が主体的に活動し自己の役割を果たした。	殆どの行事はこなしたが、生徒の主体的活動の場が少なかった。	行事が成り立たず、生徒の活動も乏しく、自己の役割を果たす生徒が少なかった。	3.1 B	行事の時間はこれに没頭し、より良い集団を形成しようとする生徒が増えてはきた。しかし与えられた役割以上のことは進んでやろうとしない生徒も未だ多い。チームを形成し互いに高めあう団体戦指導を重ねて行きたい。	
3学年	1) 最上級学年としての自覚を持たせ、学習に対する意識を高めるために授業開始時に風紀面のチェックを行う。共に励まし合える関係をクラス内に育て、居心地の良い「場」を提供することで個人の頑張りやバックアップする。	19	学年団の意図するところを大多数の生徒がよく理解し、良い緊張感が勉強への集中を促した。クラス内で励まし合える人間関係が育ち、受験勉強の頑張りにつながった。	学年団の意図するところを大半の生徒が理解し、緊張感が勉強に良い影響を及ぼした。クラス内で励まし合える人間関係も見られた。	学年団の意図するところはあまり伝わらず、最上級学年としての自覚を高めるには至らなかった。クラス内での励まし合いもごく一部にとどまった。	学年団の意図するところは伝わらず、風紀も乱れ気味で頑張る雰囲気を作れなかった。クラス内で支え合う様子もあまり見られなかった。	3.0 B	学年団の意図するところを大多数の生徒がよく理解し、適度な緊張感を持ち規律ある態度をとることができた。2学期以降に体調不良等で欠席者数が増加傾向になったことが残念であったが、各行事を通じて自主性や協調性を高めることができたので、進路目標の達成に向け共に励まし合える関係がクラス内に育てられた。	
総務	1) 学習外の活動・行事：「花壇整備」「防災訓練」「芸術鑑賞」「震災等追悼行事」「記念行事」「清掃活動」等を計画し、他の分掌と連携の上、円滑に実行し生徒の社会性の向上を図る。	20	全ての行事や活動において計画内容もよく、他の分掌との連携も円滑に実施でき、生徒の社会性の育成に十分に寄与できた。	ほぼ全ての行事や活動において、他の分掌とも概ね円滑に連携し、生徒の社会性の育成に寄与できたと言える。	行事や活動は実施できているが、計画内容がやや不十分である、または、計画内容通りには十分実施できているとは言えない。	行事計画に不十分な点が多く、実施に於いても、他の分掌との連携が不十分で、今後内容とも十分な検討が必要である。	3.2 B	ほとんどの行事や活動においては、概ね円滑に実施でき、他の分掌との連携も比較的良好であったと思う。生徒の主体的な活動をさらに取り入れていくことが課題である。	
教務	1) 規律のある学校生活に向けて、授業時間を確保できるよう検討する。	21	来年度に向けて具体策が決定した。	具体的な方向が検討できた。	検討することができた。	現状を変えることができなかった。	2.9 B	学期末考査後の授業時間の在り方と学校行事の精選等を検討することで、授業時間の確保と質的な授業内容向上に向けた意識改革を進めたい。	
生徒指導	1) 遅刻指導の徹底を図る。 2) ふるさと貢献事業の充実を図る。	22	年間通して遅刻者0の者が80%以上あった。	年間通して遅刻者0の者が70%以上あった。	年間通して遅刻者0の者が60%以上あった。	年間通して遅刻者0の者が50%以下あった。	3.1 B	無遅刻生徒数は、昨年と同じでしたが、事故なくゆとりを持って登校出来るように日常的に注意を喚起していく。	
		23	地域のためにいろんな事柄を計画し実施できた。	地域の依頼については実施できた。	地域の依頼については時々できた。	地域の依頼等については、ほとんど実施できなかった。	2.7 B	生徒会、ボランティア、音楽部中心に活動している。地域の依頼等についてはより一層協力していきたい。	
図書	1) 生徒会(図書委員会)との連携を密にし、生徒が主体となる委員会活動を展開する。活動の重点は文化祭、読書会、朗読会、図書館便り作成、一斉読書などとする。	24	すべての行事において、生徒が主体的に活動した。	殆どの行事で、生徒が主体的に活動した。	殆どの行事はこなしたが、生徒の主体的活動の場が少なかった。	行事が成り立たず、生徒の活動も乏しかった。	3.1 B	来年度も本年同様生徒会を中心に行事を運営できるようにしたい。	
保健	1) キャンパスカウンセラーとの連携を図り、心身共に健康な生徒の育成を図る。 2) 生徒保健委員会活動を活性化し、保健だより等を通じて生徒の健康に対する意識を高める。	25	カウンセリングは計画通り行われ、カウンセラーとの連携が図られているが、時間確保が不十分で生徒へのアドバイスが十分できていない。	カウンセラーとの連携は図られているが、時間確保が不十分で生徒へのアドバイスが十分できていない。	カウンセラーとの連携が不十分で、しかも十分な効果が得られていない。	教育相談体制が整っていない。	3.3 A	学年との連携を図り、カウンセリングの内容が教育活動に活かせるよう取り組んだ。多岐に亘る課題が山積であるが、来年度も継続していきたい。	
		26	定期的に保健だよりを発行し、生徒の健康に対する意識を高めることができた。	定期的に保健だよりを発行しているが、生徒の健康への意識は十分高まっていない。	保健だよりを生徒が読んでいないため健康に対する意識も低い。	生徒保健委員会の活動ができていない。	3.2 B	保健だよりを定期的に発行することにより、生徒の健康に対する意識を高めることが出来た。来年度も継続していきたい。	
研究推進	1) 海外研修や国内研修の実施。 2) 各種オリンピック・理数甲子園への参加。	27	研修計画はすべて実施でき、研修内容も含め十分な目的を達した。生徒の進路決定の補助としての役割が十分に達成された。	研修計画はすべて実施できたが、一部研修内容に不十分な点があった。生徒の進路決定の補助としての役割が一部達成された。	研修計画は一部実施できなかった。生徒の進路決定の補助としての役割が不十分であった。	計画がほとんど実施できなかった。生徒の進路決定の補助に全くならなかった。	3.2 B	計画自体がマンネリ化している。来年度は、より効率的に行いたい。	
		28	オリンピック・数学理科甲子園への参加で、上位入賞を果たした。	オリンピック・数学理科甲子園への参加で、一部で入賞を果たした。	オリンピック・数学理科甲子園への参加したが入賞がなかった。	オリンピック・理数甲子園に参加できなかった。	2.6 B	参加だけでなく、事前の指導を行いたい。	
心の教育委員会	1) 職員研修会と生徒向け講演会の精選と充実を図る。	29	職員の指導力向上と生徒の人権意識の高揚につながる的確なテーマを選択し、会の運営ができた。	職員の指導力向上と生徒の人権意識の高揚につながる会の運営ができた。	テーマの選択、講師依頼のどちらかが不適切であった。	テーマと講師の選択を誤り、あまり実のない会になった。	3.1 B	今年度のテーマは適切であったと思われる。来年度以降も偏りのない内容で考えたい。	
特別支援教育委員会	1) 対象生徒の実態把握および効果的な指導と校内の支援体制を整える。	30	保護者・学年との連携が図られており、対象生徒に対して十分な支援ができています。	対象生徒の実態把握はできているが、個の生徒に応じた指導が不十分である。	支援体制が十分とはいえず、適切な支援もできていない。	対象生徒の把握や校内の支援体制が整っていない。	2.7 B	特別支援学校との連携も図り、適切な対応をすることができた。また、生徒個人との意思疎通も図ることが出来、来年度に繋げたいと思う。	

学年・部 ・委員会	評価項目・具体的取り組み	NO	評価基準				評価	取り組みの状況と改善の方策	学校関係者評価
			4	3	2	1			自己評価の適切さ
1学年	保護者との懇談会や学年通信、学級通信などを活用し、保護者との連携を密にし、学年運営を行う。	31	常に保護者との連携を密接に図りながら、円滑に学年運営ができた。	保護者との連携を図りながら、学年運営ができた。	保護者との連携は十分できなかったが、学年運営は概ねできた。	保護者との連携が十分に行われず、学年運営にも支障を来した。	3.2 B	学年の行事詳細や進路に関する必要な情報を、通信の発行などを通じて随時発信した。行事予定もできるだけ早く広報するようにした。個別連絡もできるだけ緊密にした。今後ともこうした取り組みをさらに推進したい。	・SSHの指定を再度受けるということは、学校の努力の賜物と思われま。 ・通学区域が広がってくると、保護者にとっても学校行事をはじめ、その他こまめに学校に顔を出す部分が減ってくるように思います。ホームページの充実も重要になってくると思います。 ・評価からは情報発信が少ないのではないかと、いう傾向にありますが、全体的には地域からの信頼は感じていらっしゃるの、が伺えますし、教育には迷いなく取り組んでいると、考えます。今後とも迷いない指導にあたられますようお願いします。
2学年	保護者との懇談会や学年通信、学級通信、ホームページなどを活用し、保護者との連携を密にし、情報交換を行いながら学年運営を行う。	32	常に保護者との連携を密接に図りながら、円滑に学年運営ができた。	保護者との連携を図りながら、学年運営ができた。	保護者との連携は十分できなかったが、学年運営は概ねできた。	保護者との連携が十分に行われず、学年運営にも支障を来した。	3.0 B	志望校選定には旺盛な自制心を必要とする。そして合格までには汪溢した気力の維持を必要とする。これには家庭との連携が欠かせない。各家庭との双方向の連携構築の取り組みを重ねていきたい。	
3学年	保護者との懇談会や学年通信・三者面談などを活用し、常に保護者との連携を図りながら学年運営を行う。	33	保護者からの要望も把握し、学年通信・保護者会・三者面談等で学校の方針をしっかりと保護者に示し、円滑に学年運営ができた。	学年通信を月に一回は発行するなど多くの保護者に情報を発信し、保護者からの意見も集めることができた。	情報発信はしているが、保護者の信頼を得られるにはいたっていない。	情報発信があまりできていない。	3.3 A	適宜、情報発信に努め学校方針等の理解を図ることができた。面談等で保護者や生徒の意見に耳を傾け連携を図ることができた。	
総務	対外的行事・活動の案内と実施、広報出版物の適切な編集と発行を他の分掌と連携し円滑に行う。	34	行事・活動のとりまとめ、案内と実施が円滑で、広報出版物の内容もよく発行できた。	行事の案内・実施はほぼ円滑にでき、広報物の発行もほぼ満足できるものであった。	行事の案内・実施はできたが円滑とは言えず、広報物の発行に今後の改善の余地がある。	行事の案内・実施に手間取り、広報物の発行にも今後の改善の余地が大きい。	3.0 B	対外的行事の案内・実施は、概ね円滑に実施できた。今後は、他の分掌との連携をさらに密にして取り組んでいくことが必要である。	
教務	教職員、地域の方々へ公開授業を行う。	35	地域の方への公開ができた。	すべての職員が授業見学した。	一部の教科で実施した。	まったくできなかった。	2.1 C	オープンハイスクールでの公開授業の充実や公開授業週間の設定、実施方法等、年度当初に計画を立案する。	
生徒指導	通学指導	36	周囲に配慮し、自己の安全を図り通学できている。	苦情や事故に対して学年で情報を共有し、クラスで温度差なく指導できている。	苦情や事故に対して学年で情報を共有しているが、クラスにより温度差があり指導が統一できていない。	苦情や事故に対して学年で情報を共有できていない。	3.0 B	学校周辺での交通指導については、先生方の協力で安全に登校しているが、学校から離れた場所ではルールが守れていないようである。交通ルール、マナーについて、今一度生徒に確認させる。	
	生徒会活動・部活動等の情報をホームページで発信する。	37	たえず情報を発信できた。	学期に一度は発信できた。	年に一度は発信できた。	発信できなかった。	2.6 B	生徒会のブログ・部活動等については発信回数が少なかつたりできていない。部活動の結果については顧問に協力していただき県総体、新人戦については必ず発信していただく。	
進路指導	進路通信の発行、情報誌の配布、大学等からの諸情報の伝達などを適切に行っている。	38	各種情報が計画的・継続的・効果的に伝達され、生徒の進路意識向上に大変役立っている。	各種情報がほぼ計画的・継続的・効果的に伝達され、生徒の進路意識向上の一助となっている。	各種情報がやや不定期ながらも伝達されたが、生徒の進路意識向上にはあまり役立っていない。	各種情報の伝達が質的・量的に不十分で、生徒の進路意識向上にほとんど役立っていない。	3.1 B	入試制度の多様化などから、各業者から、様々な情報が提供されており、本校の生徒の実態に合ったものを選択し、伝達することに努めた。入試制度も大きく変わる時代に合わせて、今後も更に情報の精選に留意したい。	
図書	近隣の公立図書館との交流と連携を密にし、読書指導の充実を図る。	39	交流と連携が十分に図られた。	交流と連携が図られた。	交流と連携が不十分であった。	全く交流と連携が図られなかった。	2.6 B	今年度は公立図書館との連携事例がなかった。来年度は案内の機会を増やしたい。	
保健	校内救急体制を確立し、全職員に周知徹底を図り、緊急時の対応ができる。	40	職員全員が十分周知し、対応ができる。	救急体制が確立されているが、職員の対応が十分でない。	救急体制は確立されているが、職員の周知がなされていない。	救急体制が不十分で整備の必要がある。	2.8 B	怪我など緊急時においては、学年、教科、保護者との連携を図り、スムーズに対応することができた。文化祭においては心肺蘇生法の実習などを実施した。	
研究推進	SSH通信の発行とホームページによる情報発信を行う。	41	月2回以上定期的にSSH通信の発行ができ、ホームページに迅速に掲載できた。	月1回以上定期的にSSH通信の発行ができ、ホームページに迅速に掲載できた。	SSH通信の発行ができたが、月1回以下の発行であった。	SSH通信の発行ができなかった。	2.3 C	来年度は積極的に発行を行いたい。	
	親子サイエンス教室において、学科生徒と地域の連携を図る。	42	サイエンス教室が実施でき、生徒の活動も十分に行うことができた。	サイエンス教室が実施でき、生徒の活動もほぼ行うことができた。	サイエンス教室は実施できたが、予定人数に達しなかった。または、一部で不備があった。	サイエンス教室が実施できなかった。	3.0 B	生徒主体の活動を行うことが出来ている。	
心の教育委員会	高丘地人協、明人協、東人教、東高人教など地域の人権諸団体との連携を図り、人権教育の充実をめざす。	43	各協議会に積極的に参加し、人権教育の充実が図られた。	各協議会に積極的に参加できた。	各協議会には参加したが、人権教育の向上にはつながらなかった。	各協議会への参加が低調であった。	2.8 B	参加状況は昨年と同じであった。フィードバックの方法を工夫したい。	

平成27年度 学校評価に関するアンケート結果(教職員、生徒、保護者)

4 あてはまる 3 おおむねあてはまる 2 あまりあてはまらない
1 あてはまらない 0 わからない

網掛けは最大値、アンダーラインは平均2.5未満 %

NO	教職員アンケート	4	3	2	1	0	平均
1	本校の教育方針は、生徒・保護者・学校関係者及び地域社会に周知されている	3.2	75.8	16.1	0.0	4.8	2.9
2	各種行事等において地域と連携をとり開かれた学校づくりを推進している	19.4	74.2	6.5	0.0	0.0	3.1
3	PTA・同窓会との連携・協力が円滑に進められている	21.0	69.4	3.2	0.0	6.5	3.2
4	生徒は楽しく登校しているように思う	24.2	74.2	0.0	0.0	1.6	3.2
5	生徒の学校生活はいきいきしているように思う	19.4	75.8	1.6	1.6	1.6	3.1
6	シラバスを準備して学習内容や評価方法を明確にしている	4.8	59.7	25.8	4.8	4.8	2.7
7	生徒は家庭学習を十分におこなっている	6.5	61.3	29.0	0.0	3.2	2.8
8	基礎・基本を大切に、家庭学習を定着させるような教材の精選・工夫を行っている	8.1	82.3	4.8	0.0	4.8	3.0
9	各教科で公開授業や授業研究を行い、授業の改善に努めている	6.5	46.8	33.9	9.7	3.2	2.5
10	質問会や補習を適宜に実施している	24.2	69.4	4.8	0.0	1.6	3.2
11	進路や興味関心等に応じた教育課程を編成している	9.7	80.6	8.1	0.0	1.6	3.0
12	三年間を見据えて計画を立て、組織的・継続的に進路指導を実施している	11.3	67.7	17.7	0.0	3.2	2.9
13	清掃指導を行っている	27.4	62.9	9.7	0.0	0.0	3.2
14	学校周辺の危険な場所に気を配り交通指導を行っている	38.7	59.7	1.6	0.0	0.0	3.4
15	職員同士が共通理解をして、一貫性のある生徒指導を行っている	8.1	45.2	33.9	8.1	4.8	2.6
16	生徒や保護者の話を真摯に受け止めている	22.6	72.6	1.6	0.0	3.2	3.2

平均 3.0

NO	生徒アンケート	4	3	2	1	0	平均
1	教科書・ノート等は始業前に準備している	26.3	51.2	15.8	6.2	0.5	3.0
2	授業にはしっかりと取り組んでいる	25.8	64.6	8.0	1.3	0.4	3.2
3	分からないところはすぐに質問している	7.9	34.3	38.6	18.4	0.8	2.3
4	本校に入学してよかったと思う	38.2	47.9	6.7	3.7	3.6	3.3
5	学校生活は充実している	39.3	48.7	7.5	2.7	1.7	3.3
6	学習の内容や評価方法がわかりやすく説明されている	10.5	60.8	19.5	4.3	4.9	2.8
7	家庭学習時間を十分に確保している	16.8	46.1	29.4	6.9	0.8	2.7
8	授業の宿題や課題は必ず提出している	41.3	45.0	9.4	3.7	0.6	3.2
9	授業は教材等も工夫され、全体としてわかりやすく丁寧である	10.7	62.1	19.5	3.4	4.3	2.8
10	質問会や補習が適宜に実施されていると思う	25.8	55.1	11.9	2.8	4.3	3.1
11	進路や興味関心に応じた選択科目が用意されている	19.7	53.8	15.8	4.6	6.1	2.9
12	進路に関する情報が十分提供されきめ細かく指導してもらえる	16.5	54.6	19.1	3.9	6.0	2.9
13	美化意識を持って清掃を丁寧にしている	21.7	56.2	16.5	3.8	1.8	3.0
14	交通ルール、マナーを守り安全に登校している	36.7	52.9	7.7	1.5	1.3	3.3
15	日頃から日常生活のマナーや社会のルールについて指導を受けている	23.0	51.6	14.7	6.8	4.0	2.9
16	先生は悩みや困りごとに対して、丁寧かつ迅速に対応してくれる	17.3	54.0	13.9	4.1	10.7	2.9

平均 3.0

NO	保護者アンケート	4	3	2	1	0	平均
21	本校では特色ある(他校にはない)教育活動を行っている、子供にとって意義のあるものになっている	19.0	53.5	14.0	1.9	11.6	3.0
22	学校行事は保護者や地域の人も参加しやすいように、日程等が配慮されている	11.0	44.2	31.1	7.4	6.2	2.6
23	本校では保護者と連絡をとった活発なPTA活動が行われている	6.6	42.2	26.5	4.2	20.4	2.6
24	本校に入学させてよかったと思う	48.8	41.2	5.5	2.6	1.9	3.4
25	充実した学校生活を送っていると思う	43.3	46.5	5.9	2.2	2.1	3.3
26	学習の内容や評価方法の説明が丁寧にされている	11.8	54.2	19.5	2.3	12.2	2.9
27	家庭学習時間を十分に確保しているようだ	16.5	47.0	24.9	8.8	2.8	2.7
28	家庭学習をする習慣を身につける指導が行われている	14.7	48.1	17.9	4.2	15.1	2.9
29	理解できる授業が展開され、授業は学力の向上に役立っている	11.5	49.7	18.1	4.7	15.9	2.8
30	学力不振者への指導や学力・進路に応じた指導が適切に行われている	10.5	44.2	18.5	5.2	21.6	2.8
31	進路や興味関心等に応じた教育課程が実施されている	14.5	51.6	14.3	3.4	16.3	2.9
32	進路指導は、生徒一人一人の目標達成に役立つように行われている	14.8	50.1	14.1	3.5	17.6	2.9
33	本校では清掃が行き届いており環境が整っている	15.6	53.9	13.3	3.8	13.3	2.9
34	子どもは交通ルール、マナーを守り安全に登校している	20.5	57.9	11.9	2.5	7.1	3.0
35	家庭で規範意識や生徒心得の遵守など、生活指導を行っている	18.3	63.9	13.3	2.0	2.4	3.0
36	安心して先生に意見を聞いてもらったり、相談することができる	20.4	52.9	12.9	2.5	11.2	3.0

平均 2.9